

南魚沼市立地適正化計画の策定への取り組み

～第1回 立地適正化計画作成の背景と概要～

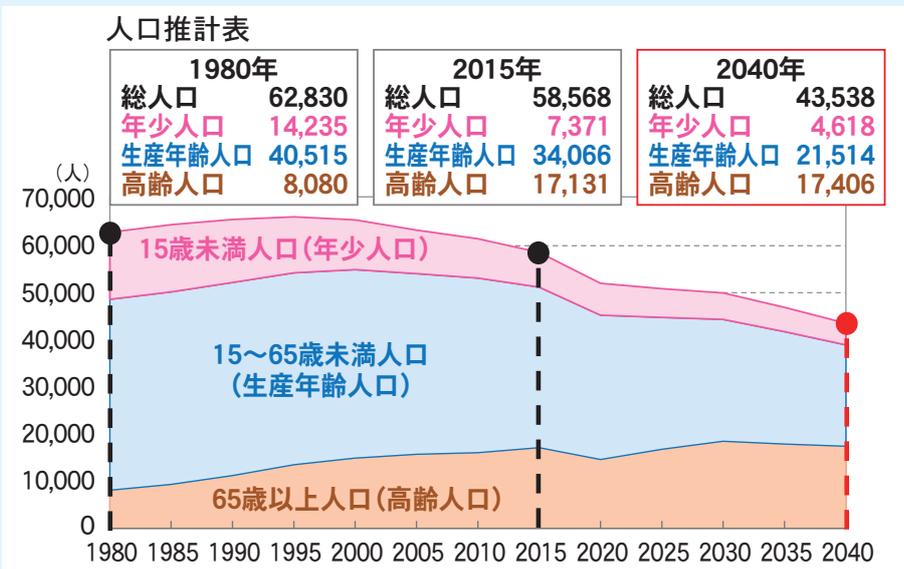
【問合せ先】都市計画課 ☎773・6662

市では、他の地方都市と同様に、急激な人口減少・少子高齢化が想定されています。

そのような状況下でも、暮らしやすく、持続可能なまちをめざすため、令和3年度から立地適正化計画の策定に着手しました。計画の策定にあたり、みなさんに計画の内容をご理解いただくため、不定期で市報で紹介します。今回は、立地適正化計画作成の背景と概要について紹介します。

立地適正化計画作成の背景

背景① 急激な人口減少・少子高齢化の進行が想定されます



2040年

生産年齢人口からの税収で
ほぼ同数の年少・高齢人口を
支えなければなりません。

年少人口 高齢人口

生産年齢人口

※2015年以前は国勢調査、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値

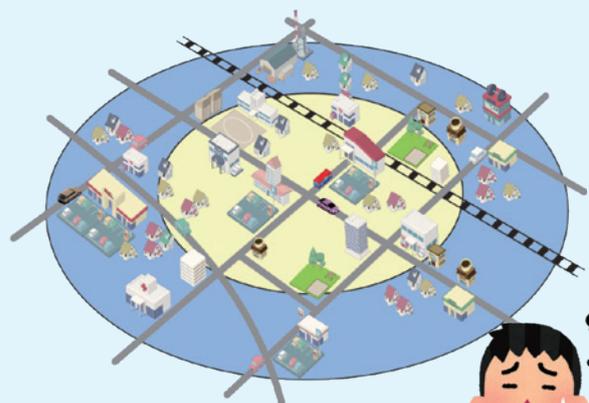
背景② 都市のスポンジ化による公共・民間の生活サービスの低下が懸念されます

2010年以前

公共施設や生活サービス施設が旧市街地の
外側に建設され、それに伴い居住地も広がった
(都市の拡大分散化) 旧市街地

2040年

人口が減少すると閉店・閉所、空家・空地
が増えてまちがスカスカになってしまう
(都市のスポンジ化)



まちがスカスカになって、不便になるのはイメージができるけど、
具体的にどういった影響があるの？

